

# 中央銀行という存在について考える

前日銀総裁、青山学院大学特別招聘教授

白川 方明  
しらかわ まさあき

- \*『中央銀行』執筆の理由
- \*中央銀行とは何をする組織か？
- \*中央銀行の役割とは？…リーマン危機を例にとって
- \*グローバル金融危機が提起する論点
- \*非伝統的な金融政策の評価
- \*いちばん大きな弊害は何か
- \*中央銀行に出来ることと出来ないこと
- \*政府の役割と中央銀行の役割
- \*中央銀行とはどのような組織であるべきか？
- \*出口の議論に不可欠な財政の持続可能性



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）

本日は、前日銀総裁の白川さんをお招きいたしました。去年、東洋経済からご著書が出まして、こういったたいへん高額の本でございまして、内容もぎっしり詰まっておりますが、幸いに1万部を超える、こういったものではないへん珍しい売れ行きになっております。今日は入り口のところで帰りにも本を売っておりますので、本屋さんよりはかなり安く手に入ります。ぜひお買い求めください。

日銀の政策についてはこの場でもいろんな先生方が、特に批判的な声が最近非常に多いわけでございますが、直接現在の日銀の政策についてというよりは、中央銀行のあり方はどういふものであるのか、それが日本経済にとってどう

いふふうにより重要であるかということをご今日はじっくりお話しいただけるといふことでございまして、最後までゆっくりお聞きください。それでは白川先生、よろしくお願いたしました。（拍手）

## 『中央銀行』執筆の理由

白川 皆さんこんにちは。ご紹介いただきました白川でございます。

私は、ほぼ6年前に日本銀行を辞めて以来、こういう大勢の席で講演するというのは極力控えているんですけども、ただ、講演の依頼がただ今紹介のありました私の本の出版社である東洋経済であれば、これは断るわけにはいかないと思つて今日はこの席に参りました。